

荒川区区政改革懇談会

第3回 まちづくり・環境分科会 議事要旨

【日 時】

8月9日（水）19：00～21：00

【場 所】

荒川区役所 305 会議室

【次 第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：次回の検討に向けた話し合い

ステップ2：話し合い

ステップ4：その他

ステップ1 はじめに

事務局より、今回の話し合いの内容と資料の説明を行った。

ステップ2 話し合い

事務局より、前回までの放置自転車問題に関する話し合いのまとめについて説明を行った。その後、引き続き、放置自転車問題について話し合いを行った。

【主な意見】

- ・ 資料-2「第2回までの話し合い結果のまとめ」に示されている放置自転車問題に関する施策は、現段階で、その実行性は難しいと思う。今後、具体的な駅、商店街などを取り上げ、放置自転車問題について話し合っていけば、施策の内容も更に具体性を持つし、今後の参考となるのではないか。
- ・ 駅周辺で再開発を実施する際、荒川区と企業との間で協議し、駐輪場の設置を検討してはどうか。民間の土地を利用するような施策をとっても良いのではないか。
- ・ 再開発する地域において、放置自転車に関する対策を徹底的に実施し、モデル地区としてはどうか。
- ・ 駅の近くに使い勝手の良い駐輪場があれば、駐輪場の利用者が多くなり、放置自転車が減るのではないか。
- ・ 自転車に子どもを乗せている母親などに対して、自転車マナーを啓蒙するような施策を実施して欲しい。
- ・ 地下の自転車駐輪場で、スロープで自転車を上げたり下ろしたりするのに、高齢者が

大変な思いをしているという話を聞く。また、子ども連れの母親が利用する場合、子どもを一旦、自転車から降ろして上げたり下ろしたりしなければならず、その際目を離れた子供が危険な目に遭うこともあるのではないか。一時、子供を見ていてくれる人がいると良い。

- ・ 駅前に放置させないようにするための施策として、プラスチックバリケードが効果的と言うが、結果的に放置自転車が分散しているだけではないだろうか。
(回答) → 実験段階であり、バリケードの設置範囲を拡大することによる効果を見極めていきたいと考えている。
- ・ 駅や商店街に向かう自転車の流れを考慮して駐輪場をつくれれば、放置自転車は少なくなるのではないか。また、現在ある駐輪場に自転車を誘導するための対策を考えてみてはどうか。
- ・ 日暮里・舎人線の開通により、荒川区の新駅に足立区からの自転車で来る人も想定される。どの新駅に駐輪場をつくるのか。また、利用しやすい駐輪場ができるのか。
(回答) → 開業に合わせて、熊野前駅に駐輪場をつくる予定である。駐輪料金については、現行の利用料金を考えている。
- ・ 京成線千住大橋駅の駐輪場は、2 時間無料でとても利用しやすい。そのような利用しやすい駐輪場が増えれば良いと思う。
- ・ 商店街で路上に商品を陳列しているが、道路交通法違反にならないか。
(回答) → 警察署と連携し、指導している。指導した直後は、路上における商品の陳列がなくなるが、しばらくするとともに戻ってしまうのが現状である。
- ・ 放置自転車問題について、自転車の整理にあたっているシルバー人材センターの方に意見を伺っても良いと思う。
- ・ これまでの話し合いの中で出てきた施策の実行性をもたせるため、「自転車等駐車場対策協議会」のような組織を再度設置し、今までの意見をたたき台に話し合ってもらいたい。
- ・ こまめに空き地を確保して、駐輪場を設置して欲しい。また、駐輪場マップの作成も良いと思う。
- ・ 京成線のガード下が駐輪場として利用できれば良いと思う。
- ・ 荒川区では、「生涯健康都市宣言」、「防犯都市宣言」等、宣言を行っている。放置自転車問題の改善に関しても、何か「宣言」として発信しても良いのではないか。また、町屋駅や日暮里・舎人線の新駅をモデルケースとして、全国に発信できる施策を考えても良いのではないか。
- ・ 赤札堂前の広場など自転車を停めても良い場所は、インターロッキングブロック舗装にするなど、デザイン的な配慮を考えてはどうか。
- ・ 参考資料にある江戸川区の例のように、放置自転車対策において、ビルメンテナンス会社や警備会社の知恵を活かすことは、企業にとってもビジネスチャンスが広がるし、とても良いと思う。
- ・ もし、「自転車等駐車場対策協議会」のような組織を設置して、放置自転車問題につい

て話し合うのなら、交通システム全体の中で、自転車の位置付けをどう考えるか検討して欲しい。

- ・ 荒川区にとって、自転車は必須の乗物である。道路が狭く、自動車が入れないようなところでは、足替わりとなる。
- ・ 歩車分離という考え方から、段々、歩車共存という形になってきた。歩行者や自動車だけでなく、自転車も同じ道路空間を利用する。したがって、歩車共存という考え方の中に自転車の位置付けも必要である。
- ・ 自転車が歩道を走行する際、歩行者にとって自転車は凶器になってしまうので、自転車利用者のマナーが必要である。
- ・ 駅前等の道路幅員の広い場所であったら、歩行者、自転車、自動車の分離は考えられるが、道路幅員の狭い場所では、うまく3者が共存できるような方策が必要である。
- ・ 自転車が多く走る荒川区としては、3者が共存できるような道路整備を考える必要がある。

ステップ3 次回の検討に向けた話し合い

最初に次回も継続して、放置自転車問題について話し合いの場を設けるか、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 次回も放置自転車問題に関して話し合えば、区民提言内容が深まるのではないかな。
- ・ 地元の人の声や考えを聞かないと、机上の空論になってしまうのではないかな。
- ・ 今後どのようなテーマで話し合うのか。時間的に余裕があれば、放置自転車問題に関して話し合いを続けても良いと思う。

(回答) →他に区民の方々に意見を伺いたいのは、みどりの基本計画や都市マスタープランに関することである。また、1つのテーマにつき2~3回で話し合うことを想定していた。ただ、委員の方の意見を優先したいと思っている。

- ・ 放置自転車問題について、詳細に議論すれば、もっと良い案が出ると思う。しかし、色々なテーマで話し合うということを重視するのならば、この辺で話し合いをやめた方が良いのではないかな。

放置自転車問題については、今までの意見を区民提言内容としてまとめ、次回の懇談会で、修正することとした。

次に、次回以降の新しいテーマについて、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 地球環境問題について話し合いたい。具体的な施策として、バイオディーゼルを取り

上げたら良いのではないかと思う。

- ・ 屋上緑化や雨水利用について話し合いたい。誰もが良いことだとわかっているのに、普及しない理由がわからない。
- ・ 新たに建設されたマンション住民の町会等の地域コミュニティへの関わり方について話し合いたい。マンションの住民は町会に入りたくない人が多いようである。特に賃貸の住民は、ほとんど町会に入らない。
- ・ 町会、自治会への関わりの煩わしさから、マンションに住む人もいる。マンションのコミュニティ問題はとても難しい。ただし、災害時には問題となるのではないか。
- ・ 他の地域から転入してきた人は、荒川区の下町の雰囲気に入りづらいのではないか。
- ・ 町会に入ってもらえるよう、何かきっかけづくりが必要だと思う。

次回までに、各委員が今後のテーマについて考え、発表することとした。

また、次回懇談会の内容は、「放置自転車問題に関する区民提言内容について」、「新たなテーマ設定について」の2つとした。

ステップ4 その他

事務局から、100人規模の区民会議である「地球を守る区民会議」の開催について、情報提供が行われた。後日、詳細の案内を郵送することとした。

【日 時】 平成18年8月25日（金）18：00～（予定）

【場 所】 サンパール荒川・末広（予定）

次回懇談会の日程等について

【日 時】 平成18年9月20日（水）19：00～

【場 所】 305 会議室

【内 容】 ・ 放置自転車問題に関する区民提言内容について
・ 新たなテーマ設定について

以上